

第4回福知山市行政改革推進委員会 議事録

日時：令和4年11月29日（火）

午後2時30分から

場所：市民交流プラザ 会議室3-2

■ 出席者

【委員（敬称略）】

深尾 昌峰（委員長）、菊田 学美（副委員長）、井上 拓、浦尾 たか子、村尾 慎哉

※菊田委員以外オンライン参加

【市】

市長公室長、財務部長、経営戦略課長、財政課長、事務局

1 議事

（1）施策レビューの実施結果について

【資料1について事務局より説明】

委員

前回の議論をかなり反映して、工夫していただいた案という印象があるが、質問や意見はあるか。

委員

前回の議論をしっかりと反映している。年間を通じたスケジュールも非常にわかりやすくまとめである。

一点質問で、まだ案ではあると思うのだが、選考基準案について、「課題のある施策」とした具体的な意図や背景があれば教えてほしい。「達成状況に問題がある施策」とあえて分けているのだと思うが、普通に考えると課題があるから達成状況に問題があるという、近しい状況になると思う。あえて分けている理由を教えてほしい。

市

前回指摘をいただいたように、今年度のレビューにおいても、そもそも課題の認識がずれていたり、課題の認識はあっているが取組の対応・手段に改善余地があるものだったり、レビュー結果の点数が低い施策の中にも内容が異なるものがあつたと認識している。1次レビューを行う中でも、こういった部分にずれがあるのか、手法は間違っていないが進捗が芳しくないのか、そういった原因を分類し、施策担当課にも、どの部分に改善が必要であるか認識をしてもらう必要があるとの思いを込めたものである。

委員

前回委員会で、今年の施策レビュー結果が予算にどう反映したのか、今後の委員会で説明すると聞いていたので、それを見れば明確かもしれないが。予算は事業ごとに決められているのだとシートから判断しているが、施策の中に複数の事業があつて、今回は事業に踏み込んでいないので施策

としては課題が捉えられていないとか、課題があるとか、評価がひっかかった施策でも、事業単体で見るときちんと政策に結び付いているものもあったように感じる。どのように予算に反映しているか、具体例でも、全体の流れでもよいのでどう反映していくのか教えてほしい。

市

次回行革委員会で各施策の改善提案をどう結び付けたかを報告するが、改善の方法としては、予算の反映（拡充・縮減）を伴うもの、予算への反映を伴わないが課題の捉え方や取組方法を改めたものも出てくると思う。予算は個別の事業ごとになるが、まずは大きな施策として捉えたときに、問題の指摘を受け、それをどう受け止め、どんな対応をしたかという大きな方向性を示しつつ、予算の反映を伴うものについて個別の説明を行うことで、レビュー結果の反映をご報告したいと考えている。

委員

よくまとめていただいているが、まだイメージがはっきりつかめていないので、一巡して来年度になればもう少しクリアになるかなと思う。

2、3月の選考基準案における「進捗が良好で横展開が期待できる施策」を選定する目的は、水平展開をできるかどうかを検討するという主旨か。

市

その通り、有効な取組を横展開したいという意図もあるが、もう一つ思う意図として、施策レビューが「公開の場で外部から指摘されるだけの場」だけでなく、「施策担当部課が施策をより良いものにしていく場」として前向きにとらえてほしいという思いを込め、課題のある施策だけではなくより良い取組の施策を庁内展開・市民へお示しができればと思い、選定を考えている。

委員

もともと施策レビューは、福知山のまちづくりの施策に連動できていない事業を見直していこうという主旨では。

市

そうである。

委員

そうであれば、よいものを選定する必要はないのではないか。そこはどのように考えているか。逆に言えば良好なところ、課題のあるところ、達成状況に課題があるところと選べば、どこが選ばれないことになるのか。

市

「まちづくり構想」に掲げる施策を着実に進めていくために、まず一巡して課題がある施策を選

ぶことは十分にしないといけないと思うが、どうしてもレビューに参加する職員も自分自身が取り組む業務に前向きに向き合うためには、レビュー対象となる施策をネガティブに捉えて、いわゆる外部に取組状況を説明するマインドというのも、できていないことの説明だけではなくて、いい取組というものをよりよいものにしていくということも、先ほど繰り返しになるが、込めていきたいと思っている。そういった中では、良好な施策、課題のある施策のバランスをどのようにしていくかはまだこれから検討になるが、そういった思いで案を掲げた。

委員

別件で、もう一度教えてほしいが、1次レビューは全施策に対して行って、その中で、2次レビューを抽出して行うということになるのか。毎年1次レビューは全件するのか。

市

1次レビューについては毎年、年度末に全ての施策で行い、その結果を年度末に行革委員会でお示ししたいと思っている。そういった中で公開の対象となる2次レビューの選定案を、例えばこの選考基準案に基づいて毎年10いくつかの施策を2次レビューの対象としてまいりたい。

委員

質問と意見であるが、まず1つ目。いま話のあった経営戦略課からみた「良好な施策」とはまず具体的にどのようなものだと捉えているのか。「まちづくり構想」に掲げる目標に対して有効的、より実効性のある施策という意味で捉えているが、まずその認識を合わせたい。

それと、4月に事前の論点整理を行い、そのあと6月に当日のコーディネータとの論点整理を行うという流れになっていますが、我々の反省として、事前に資料を頂きながら当日の論点整理が不十分で課題の深掘りができていなかったというところもあった。検証者全員が集まる当日の打合せが30分と非常に短いため、できるだけ事前の論点整理を検証委員みんなで共有し、その上で当日のレビューに臨めたらと思う。

市

まず1点目の経営戦略課としてどのような施策を良好な施策として捉えているか、ということについて。良好な施策というと、令和4年度の2次レビューでは厳しい意見をいただいた施策もあったが、例えば評価が良好だった「地域防災力の強化と減災対策の推進」、「アクティブなまちの基盤となる地域の安心・安全」という施策があったかと思う。前者の施策は、いわゆる地域・自治会に入って実際に市民の声を聴き、現地に複数回、行事等また説明会等を行う中で、実際に現場でどのようなことに市民が困っているかをしっかり施策に取り込んでいる、また後者は庁内の関係課でしっかりと横連携して取り組んでいるということで評価が高かったと認識している。今年度でいうとそういった取組を他の施策にもできるだけ横展開していったらということで、「良好な施策」と捉えている。

2点目の論点整理についてだが、今年度は試行ということもあり、事務局も含めて手探りのところがあり、今年度も事前の論点整理はさせていただいたが、2次レビュー当日に向けて資料を準備

し、市民評価者や検証委員に内容を十分に周知できたかという点と不十分なところがあったと思っている。来年度については、こういったスケジュールももう一度踏んでいくが、できるだけ前倒しで行い、事前の論点整理でいただいた指摘事項は検証委員のみなさまに事前にお伝えすることで、当日、こういったところにフォーカスをあてて質問を投げかけていただくか、早めに担当課と委員に共有できるよう工夫できればと思う。

委員

さきほど議論があった件で、課題がある施策だけではなく、良好な施策についてもレビューの対象とすることについて、私は賛成である。施策レビューの目的が、まちづくり構想をより良く進めていくのももちろんあるが、プラスαまちづくり構想の進め方、進捗について、市民への説明責任を果たすという目的もあると理解している。なので、うまく進んでいるものも、これだけ良好にできています、市民からすると、さらによくしてほしい、こういった意見を反映してほしい、という意見がひよっとするとあるかと思うので、そういった観点も加えて良好な施策も取り扱っていただいたらよいかと思う。そのやり方について、1つのアイデアではあるが、良好な施策について、各部課の自薦も含めて設定されるのも一案としていいのではと感じた。本質的に市民からも関心が高く、かつ、だからこそ市としても力を入れていく、だからこそうまく進んでいる取組、みたいなものについては、さらにどうしていくのか、意見も出やすいかと思う。そういった施策についてレビューできると、より建設的な2次レビューの取組になるかと思ったので提案させていただく。

委員

非常に大事なポイントだと思う。コミュニケーションツールとしての意味合いというか、レビューの位置づけは大事な側面である。

そのほかいかがか。(→なし)

それでは、タイムスケジュールについて議論いただいたので、次に施策レビュー当日のタイムスケジュールについて、説明をいただきたい。

【資料2について事務局より説明】

委員

純粋な質問にはなるが、基本政策については近しいものをまとめてということだが、来年度、選ぶ基本政策は最大2つで検討されているとの理解でよいか。また、来年度、この基本政策を2次レビューで取り上げる、というあたりがつかっていれば教えていただきたい。

市

現時点で、基本政策を2つまでに絞っているというわけではない。1次レビューをする中で、また今年度の改善状況を踏まえて課題が残る施策があれば、継続してモニタリングする必要があるため、2つ以上の基本政策にまたがることもありえる。ただ、一方で、多数の基本政策にまたがるコマの構成にすると、1つ1つの流れが分かりにくいレビューになることも考えられるため、分かりやすさと課題を改善していくことのバランスをとりながら構成したいと考えている。

委員

今年度、2次レビューを行った施策のうち、課題が残っているもの、評価が良かったものもピックアップし、来年度の対象施策に入るという認識でよかったか。

市

その通りである。改善提案を受けた今年度のレビューも、まさに来年度に向けて予算要求を行っているところではあるが、そういったところを継続して見ていきながら、十分な対応方針がとれないものが年度末時点であれば、あらためて来年度の2次レビューの枠に入れていくこととなる。

委員

そうなる、初めて2次レビューにあがってくる施策と、前年度2次レビューを行ってもう一度議論する施策が混在してくるということか。

市

ご指摘のとおりである。

委員

そうなる、論点が若干違ってくるのでは。基本は一緒だが、2回目となる施策のレビューは、前年度を受けて改善ができているかとか、どう展開しているかとか、論点が増えてくるような気がする。なので、最初の説明のときに、それがきっちりとできるように、時間配分をしておいた方がよいと感じた。

市

ご指摘いただいたとおり、冒頭10分に基本政策の説明を行う時間を設けているが、前年度に施策レビューを行った施策がコマの途中で入ってくる場合は、事務局から前年度からの引き継ぎの施策であり、どういった論点について議論いただきたいかということも含めて、委員や傍聴者に説明し、聞いている方が混乱を招かないよう努めたい。

委員

みなさま、よろしいでしょうか。このところは、今度の会議は2月だが、2月に向けてさきほどの年間スケジュールも含めて少し整理をしていただくことになろうかと思う。

(2) その他

委員

事務局から何かあるか。

市

本日も貴重な意見・指導をありがとうございました。次回2月の行革委員会に向けて資料の見直

しを行う。次回、再度スケジュールを改めて確認いただき、来年度からの施策レビューの本格実施を行いたいと思う。

委員

質問等、全体を通して何かあるか。

委員

全体の施策レビューのタイムスケジュールだが、少し気になったことがある。対象施策の選定はこれからと聞いたが、仮に1年で4つの基本政策をやるとしたときに、最大5年間で20個のコマがあると思う。全体で基本政策が9つあるので、2回やって、結構埋まってしまう形になるかなと思う。その辺は今後、最大4つをただちにするとしたときに、その状況を見ながら、例えばその翌年は3回にするかとか、そのあたりのプランニング、あとは、さきほど意見にあった初回時のタイミングでやるかとか、あらかじめ5年間のあたりをつけておくと、優先順位をつけやすいかと思うので、次回かその次かになるかと思うが、5年間の基本政策の進め方みたいなものも引き続き議論いただけたらと感じた。

委員

めどをつけていく、見通しを持ってやっていきたいと思いますということだと思う。

委員

さきほどの話の続きになるが、進捗が良好で横展開が期待できる施策と、それ以外の課題のある施策、大きくこの2つに分かれてくるかと思うが、その目的が広報とかPRも兼ねてという話はあったが、具体的に2次レビューをする段階では、アプローチや論点が変わってくるので、そのあたりにどういう対応をするのかは検討しておいてほしいと思う。

委員

たしかにアプローチの方法も変わってくると思うし、コマの割り方も、もしかしたら、1時間半の中で2つ必要かもしれない。そういったものは柔軟に区分けしながら、というところもあろうかと思う。あとは、コーディネータの方と事前協議された後に、オンラインでもいいので論点を共有するような時間が我々も含めてあってもよいかと思う。当日の30分の打合せでは、はかりきれないところも出てくるかもしれないので、当日の30分がなくてもいいような形で、事前の論点共有を行うのも方法の一つかもしれない。そこはどこをどういう風にするか、また整理して設計していただきたい。

委員

おっしゃったことは非常に重要なので是非よろしくお願ひしたい。課題がある施策に対して、ここが課題であると検証委員が質問し、職員が答えるという場面だけではなくて、一緒になってどういうふうな課題を克服していこうというやりとりが検証の中でできてくれればと思う。今年参加さ

せていただいて、課題は課題としてきっちり認識しながら、一緒になっていいアイデアを出して少しでも解決していこうという時間が少なかった気がするので、是非、来年に向けて、そういうことが時間の流れの中で、取り入れられたらと思う。

委員

そのほかはいかがか。(→なし)

それでは本日の議事は以上とする。

以上